

(2) **精神障害者の福祉サービス事業者との連携の課題**について、最も当てはまる数字に○をしてください。

a 65歳以上は介護保険優先ということから、かかわりが十分でない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 地域生活支援に関して、精神障害者の福祉サービス事業者に支援チーム全体への助言をしてもらえない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 福祉サービス事業者が介護保険におけるサービス利用の流れを知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 本人が利用を希望しないことから福祉サービス事業者につなぐことができない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 介護支援専門員が福祉サービス事業者に紹介した時に対応を断られたことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 精神障害者が利用できる福祉サービス事業者が少ない、対応数が少ない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 地域包括支援センターと福祉サービス事業者がお互いの機関の機能や役割が分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 地域包括支援センターから福祉サービス事業者へ紹介後、相互のやりとりがない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 地域包括支援センターと福祉サービス事業者との間で支援方針に違いがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

(3) **精神保健福祉士との連携の課題**について、最も当てはまる数字に○をしてください。

a どこにいるのか知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 何をする職種か知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c どのように役割分担し、連携すればよいかわからない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 本人が利用を希望しないことから精神保健福祉士につなぐことができない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 介護支援専門員が精神保健福祉士に紹介した時に対応を断られたことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 精神保健福祉士が少ない、対応数が少ない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 地域包括支援センターと精神保健福祉士がお互いの機関の機能や役割が分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

h 介護支援専門員から精神保健福祉士へ紹介後、相互のやりとりがない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 介護支援専門員と精神保健福祉士の間で治療や支援方針に違いがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

3. **精神保健福祉にかかわる機関・職種との連携**について、次の各段階にはどの程度の課題がありますか。最も当てはまる数字に○をしてください。

a 課題の解決のために精神保健福祉にかかわる機関・職種に協力を求めようとする段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
b 課題の解決のために精神保健福祉にかかわる機関・職種に協力の打診をする段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
c 精神保健福祉にかかわる機関・職種と協力して支援に取り組む目的を確認し一致させる段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
d 精神保健福祉にかかわる機関・職種との間で役割と責任を確認する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
e 精神保健福祉にかかわる機関・職種と情報を共有する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
f 精神保健福祉にかかわる機関・職種と連続的な協力関係を展開する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
g その他 ( )	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし

4. **精神保健福祉にかかわる機関・職種との連携を促進する方策**について、次の方策はどの程度効果的だとお考えですか。最も当てはまる数字に○をしてください。

a 精神疾患に関する理解促進のため精神保健福祉にかかわる機関・職種が地域包括支援センターに働きかける	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
b 精神疾患に関する理解促進のため精神保健福祉にかかわる機関・職種が地域や市民に働きかける	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
c 相互にケースの相談をして連携の必要性に対する意識を高める	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
d 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員が連携について学ぶ機会を作る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
e 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員がお互いに共通した支援方針を持っていないことを認識する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし

f 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員がお互いに交流を深める	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
g 精神保健福祉にかかわる機関・職種が必要な時にすぐに対応する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
h 精神保健福祉にかかわる機関・職種が気軽に相談しやすい窓口を作る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
i 精神保健福祉にかかわる機関・職種は家族だけでも相談できることを介護支援専門員に知ってもらう	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
j 地域包括支援センターと精神保健福祉にかかわる機関がお互いの機関の限界を知る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
k 介護支援専門員と精神保健福祉士では必要な情報の視点に違いがあることを理解する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
l その他 ( )	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし

5. 精神保健福祉士が、地域包括支援センターと精神科医療機関をはじめとする精神保健福祉にかかわる機関との連携を図るパイプ役になるとしたら、使ってみたいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

6. 精神保健福祉士や精神保健福祉にかかわる機関との連携を図るためのツールがあれば、使ってみたいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

7. 精神保健福祉士との連携を図るための研修を企画した場合、参加したいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

8. 地域包括支援センターへの精神保健福祉士配置を希望しますか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

\*\*\* ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて、投函をお願いします。\*\*\*

平成 25 年 月 日

各指定居宅介護支援事業所長 様

「精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究」(介護班)  
第二次調査の実施について (依頼)

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

先般 6 月から 7 月にかけて実施した厚生労働科学研究費補助金に基づく第一次調査ではご回答いただきありがとうございました。また、第二次調査への協力も検討するとのご回答をいただきありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

このたびの第二次調査では、先の第一次調査の結果を踏まえ、居宅介護支援事業所と精神科医療、精神保健福祉士との連携を具体的に進めていくために必要な要素を導き出すため、同封のような調査項目を設計いたしました。調査の趣旨、回答要領などは下記の通りです。

ご多忙な折に大変恐縮ではございますが、本調査研究の主旨および調査内容についてご理解いただき、ご協力いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 第二次調査の趣旨

第一次調査によって明らかになった点は次の通りです。

- 居宅介護支援事業所および地域包括支援センターの介護支援専門員は、精神障害者がかかわる事例への対応に苦慮している実態がある。
- 精神障害者がかかわった対応の難しい事例について、精神科医療機関、精神保健福祉士、行政の保健師等との連携が図られていない。
- 精神保健福祉士に対する認知度が低い。
- 介護支援専門員の多くが、精神科医療機関等との連携に課題を感じている。

第二次調査では、以上の結果を踏まえ、連携を円滑に図るために必要な要素を導き出し、その結果を、今後必要となる施策を要望する際の根拠資料とするとともに、精神科医療機関等と介護支援専門員が円滑に連携するための研修プログラムの開発に役立てていきたいと考えております。

2. 調査方法

同封の調査票の記載にご協力をお願いします。ご回答いただいた調査票は、返信用封筒をお使いいただき、**1月20日(月)まで**にご投函をお願いいたします(当日消印有効です)。

3. 倫理的配慮

この調査へのご協力は任意です。結果は数値で表現され、ご回答者が特定されたり個人情報が開示されたりすることはございません。調査結果は研究目的にのみ活用されます。調査票の回収、集計作業を委託する業者との間でも、倫理的配慮に関する契約を締結しております。また、介護班責任者の所属大学において研究倫理審査を受審し、倫理上の問題がないことが承認されております。

以上

<介護班責任者(厚生労働科学研究費補助金による研究の分担研究者)>

県立広島大学保健福祉学部 教授 金子 努

<アンケートに関する問い合わせ先>

県立広島大学保健福祉学部 金子 努 〒723-0053 広島県三原市学園町1番地の1

(Tel) 0848-60-1176

(E-mail) kaneko@pu-hiroshima.ac.jp

別添資料 8 居宅介護支援事業所を対象とした第二次調査の調査票

調査票の左上に、「所在地・事業所名・No+バーコード」を印字して調査票を送付

〒
所在地
事業所名 御中
No+バーコード

**居宅介護支援事業所対象の第二次調査**

1. 貴事業所がかかわっている**精神疾患の困難事例**についてお答えください。

(1) 平成 24 年度 1 年間の**精神疾患の困難事例数**（実事例数）をお答えください。

①利用者本人に精神疾患がある場合	②利用者本人以外の介護者に精神疾患がある場合	③利用者本人・介護者以外の世帯員に精神疾患がある場合
件	件	件

(2) **困難事例だと感じる理由**として、最も当てはまる数字に○をしてください。

①**利用者本人に精神疾患がある場合**

	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
a 精神疾患の疑いがあるが、精神科医療に繋いだ方がいいか否かの判断に迷う	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 精神疾患の疑いがあり精神科医療に繋がろうとするが受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 病識が薄く、定期的な受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 介護支援専門員として必要と判断するサービスの利用を拒否する	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 介護支援専門員が本人の精神疾患とそれに伴う病状を理解することが難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 介護支援専門員が本人の精神症状の悪化に結びつくのではないかと考え、どのように接してよいか分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 精神疾患の主治医との連携が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 精神科医療機関、精神障害者の福祉サービス事業者との役割分担が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

②利用者本人以外の介護者に精神疾患がある場合

a 精神疾患の疑いがあるが、精神科医療に繋いだ方がいいか否かの判断に迷う	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 精神疾患の疑いがあり精神科医療に繋がろうとするが受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 病識が薄く、定期的な受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 介護支援専門員として必要と判断し、利用者本人も望むサービスの利用を介護者が拒否する	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 利用者自身は比較的安定した状態であっても、介護者側の問題で困難事例になっている	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 虐待事例の養護者（介護者）に精神疾患があり、養護者の支援が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 介護支援専門員が介護者の精神疾患とそれに伴う病状を理解することが難しく、介護者へのかかわりが難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 介護支援専門員が介護者の精神症状の悪化に結びつくのではないかと考え、どのように接してよいか分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 介護者の精神疾患の主治医との連携が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j 精神科医療機関、精神障害者の福祉サービス事業者との役割分担が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
k その他（_____）	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

③利用者本人・介護者以外の世帯員に精神疾患がある場合

a 精神疾患の疑いがあるが、精神科医療に繋いだ方がいいか否かの判断に迷う	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 精神疾患の疑いがあり精神科医療に繋がろうとするが受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 病識が薄く、定期的な受診に結びつけられない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 介護支援専門員として必要と判断し、利用者本人も望むサービスの利用を世帯員が拒否する	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 利用者自身は比較的安定した状態であっても、世帯員側の問題で困難事例になっている	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

f 介護支援専門員が世帯員の精神疾患とそれに伴う病状の理解が難しく、世帯員へのかかわりが難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 介護支援専門員が世帯員の精神症状の悪化に結びつくのではないかと考え、どのように接してよいかかわからない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 世帯員の精神疾患の主治医との連携が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 精神科医療機関、精神障害者の福祉サービス事業者との役割分担が難しい	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

2. **精神保健福祉にかかわる機関・職種との連携**についてお答えください。

(1) **精神科医療機関との連携の課題**について、最も当てはまる数字に○をしてください。

a 利用者の受診を促進する際、どのように進めればよいかかわからない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 病状等の情報をどのように問い合わせたらよいかかわからない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 病状等の情報を問い合わせても情報を提供してもらえないことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d サービス担当者会議に参加してもらえないことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 本人の否認・病識のなさから精神科医療機関につなぐことができない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 介護支援専門員が精神科医療機関に紹介した時に対応を断られたことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 精神科医療機関が少ない、対応数が少ない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 居宅介護支援事業所と精神科医療機関とのお互いの機関の機能や役割が分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 居宅介護支援事業所から精神科医療機関への紹介後、相互のやりとりがない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j 居宅介護支援事業所と精神科医療機関との間で治療や支援の方針に違いがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
k その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない



(2) **精神障害者の福祉サービス事業者との連携の課題**について、最も当てはまる数字に○をしてください。

a 65 歳以上は介護保険優先ということから、かかわりが十分でない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 地域生活支援に関して、精神障害者の福祉サービス事業者に支援チーム全体への助言をしてもらえない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c 福祉サービス事業者が介護保険におけるサービス利用の流れを知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 本人が利用を希望しないことから福祉サービス事業者につなぐことができない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 介護支援専門員が福祉サービス事業者に紹介した時に対応を断られたことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 精神障害者が利用できる福祉サービス事業者が少ない、対応数が少ない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 居宅介護支援事業所と福祉サービス事業者がお互いの機関の機能や役割が分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
h 居宅介護支援事業所から福祉サービス事業者へ紹介後、相互のやりとりがない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 居宅介護支援事業所と福祉サービス事業者との間で支援方針に違いがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

(3) **精神保健福祉士との連携の課題**について、最も当てはまる数字に○をしてください。

a どこにいるのか知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
b 何をやる職種か知らない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
c どのように役割分担し、連携すればよいか分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
d 本人が利用を希望しないことから精神保健福祉士につなぐことができない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
e 介護支援専門員が精神保健福祉士に紹介した時に対応を断られたことがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
f 精神保健福祉士が少ない、対応数が少ない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
g 居宅介護支援事業所と精神保健福祉士がお互いの機関の機能や役割が分からない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

h 介護支援専門員から精神保健福祉士へ紹介後、相互のやりとりがない	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
i 介護支援専門員と精神保健福祉士の間で治療や支援方針に違いがある	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない
j その他 ( )	非常に当てはまる	5・4・3・2・1	全く当てはまらない

3. **精神保健福祉にかかわる機関・職種との連携**について、次の各段階にはどの程度の課題がありますか。最も当てはまる数字に○をしてください。

a 課題の解決のために精神保健福祉にかかわる機関・職種に協力を求めようとする段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
b 課題の解決のために精神保健福祉にかかわる機関・職種に協力の打診をする段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
c 精神保健福祉にかかわる機関・職種と協力して支援に取り組む目的を確認し一致させる段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
d 精神保健福祉にかかわる機関・職種との間で役割と責任を確認する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
e 精神保健福祉にかかわる機関・職種と情報を共有する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
f 精神保健福祉にかかわる機関・職種と連続的な協力関係を展開する段階	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし
g その他 ( )	多くの課題あり	5・4・3・2・1	全く課題なし

4. **精神保健福祉にかかわる機関・職種との連携を促進する方策**について、次の方策はどの程度効果的だと思えますか。最も当てはまる数字に○をしてください。

a 精神疾患に関する理解促進のため精神保健福祉にかかわる機関・職種が居宅介護支援事業所に働きかける	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
b 精神疾患に関する理解促進のため精神保健福祉にかかわる機関・職種が地域や市民に働きかける	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
c 相互にケースの相談をして連携の必要性に対する意識を高める	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
d 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員が連携について学ぶ機会を作る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
e 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員がお互いに共通した支援方針を持っていないことを認識する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし

f 精神保健福祉にかかわる機関・職種と介護支援専門員がお互いに交流を深める	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
g 精神保健福祉にかかわる機関・職種が必要な時にすぐに対応する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
h 精神保健福祉にかかわる機関・職種が気軽に相談しやすい窓口を作る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
i 精神保健福祉にかかわる機関・職種は家族だけでも相談できることを介護支援専門員に知ってもらう	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
j 居宅介護支援事業所と精神保健福祉にかかわる機関がお互いの機関の限界を知る	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
k 介護支援専門員と精神保健福祉士では必要な情報の視点に違いがあることを理解する	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし
l その他 ( )	非常に効果的	5・4・3・2・1	全く効果なし

5. 精神保健福祉士が、居宅介護支援事業所と精神科医療機関をはじめとする精神保健福祉にかかわる機関との連携を図るパイプ役になるとしたら、使ってみたいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

6. 精神保健福祉士や精神保健福祉にかかわる機関との連携を図るためのツールがあれば、使ってみたいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

7. 精神保健福祉士との連携を図るための研修を企画した場合、参加したいですか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

8. 地域包括支援センターへの精神保健福祉士配置を希望しますか。

1. はい (⇒ (1) にも回答してください) 2. いいえ (⇒ (2) にも回答してください)

(1) 「1. はい」と回答した事業所にお尋ねします。具体的に何を期待するか、教えてください。

(2) 「2. いいえ」と回答した事業所にお尋ねします。「いいえ」の理由を教えてください。

\*\*\* ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて、投函をお願いします。\*\*\*

